

平成19年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

講演会

— 事務局挨拶 —



国土交通省港湾局長 須野原 豊

ただいまご紹介頂きました、北陸地方整備局長の須野原でございます。19年度の日本海にぎわい・交流海道ネットワークの総会、またそれに続きます講演会、更にはまた明日研修会もあるようでございますけれども、本当に全国から来て頂いてありがとうございます。また一般市民の方もこれからの講演会に来て頂いて本当にありがとうございます。またこの後、先ほど市長さんからもありましたように、柳原良平先生からの講演も頂きますけれども、本当に私たち海と切っても切れない所に日本海にあります。そういう中でにぎわい交流海道ネットワーク、それぞれの地域のもっている魅力でありますとか個性をうまく使いながら、町づくりを進めていけたらというふうに思っただけであつたものでございまして、相互の情報の交換でありますとか、あるいは連携を深めて、いい町づくり、いい港づくりをしようということでございます。

先ほど市長さんからもありましたように、中国でありますとか韓国、更にロシアといった地域との交流がますますこれから活発になっていくと思います。それに対応しまして、ここ新潟を始めとして、環日本海にありますそれぞれの都市が日本の玄関になっていく、今まではどちらかと言うと太平洋側が玄関であつたわけですが、これからは日本海側の諸都市が地域の玄関として、海の玄関としてやっていくような役割が本当にますます大きくなっていくのではないかと考えています。

また、いろいろ海からのさまざまな恩恵を活かしながら、各地区はこれまでも発展してきておりますので、地域のにぎわいづくりを、港、あるいはそのみなとまちというものをうまく活かしていくことがますます大事になってくるのでは無いかというふうに思っています。

その中で本当に地域の担い手は地域の皆さんでございます。行政だけではなくNPOの方もそうでしょうし、経済界の方もそうでしょうし、地域に暮らされている皆さんがやっぱりそれぞれのもっている地域の魅力でありますとか、問題点も含めてでしょうけれども、よくご理解頂いて認識頂いて、対応して頂くことが大事なんじゃないかと思っています。

私たち北陸地方整備局でございますけれども、管内、日本海地域北海道から九州まで、8整備局もあります、皆さんと一緒に、地域の安全安心ということはもちろんですけども、それと合わせて地域の活性化のためにいろいろな施策をやらせて頂いています。その中で皆さんと一緒にいろいろな長期な計画もそうですし、細かい地域づくりも含めて考えながら進めたらと思っています。

このネットワークうまく使いながら活かしながら、ぜひそれぞれの地域の今後に向けての町づくりを進めていってほしいと思います。私たち全国のいろいろな組織もありますので、全国に渡るいろいろな情報もそうですし、ノウハウも含めてもっていますので、いろいろなわからない点が起きましたら事務所を通じて、あるいは局を通じてご相談して頂いても結構ですし、あるいはいろいろな制度としまして新しい交付金の制度もありますし、整備局ですから港だけではなくていろいろな事業やらせてもらっています。それをうまく使いながら地域の活性化にというふうに思っています。

ぜひ本日のシンポジウム、また明日の研修会を通じて、皆様がいろいろな問題点を共有化して頂いて、これからのみなとまちづくりにうまく活かして頂けたらというふうにと考えまして、私のごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。